

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年4月21日(2022.4.21)

【公開番号】特開2021-104131(P2021-104131A)

【公開日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2021-032

【出願番号】特願2019-235813(P2019-235813)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和4年4月11日(2022.4.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者による操作対象とされる特定操作手段と、

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与する特典付与手段と、

前記特定操作手段に対しての操作受付が許容される受付許容状態において前記操作受付がなされると、該操作受付がなされたことに応じた受付後変化を実行可能な受付状態実行手段と

を備え、

30

前記受付許容状態として、前記特定操作手段に対しての操作受付が複数回許容され且つ該特定操作手段を摸した摸画像表示が表示される複数回許容表示状態が少なくとも用意されている遊技機であって、

前記複数回許容表示状態の種別として、前記特定操作手段を操作した状態に維持し続けるだけで前記操作受付が複数回なされる維持操作許容表示状態と、前記特定操作手段を操作した状態に維持し続けても前記操作受付が複数回なされない維持操作非許容表示状態とが用意されており、

前記維持操作許容表示状態の発生条件として少なくとも所定の発生条件が用意されるとともに、前記維持操作非許容表示状態の発生条件として少なくとも特定の発生条件が用意されるが、前記所定の発生条件及び前記特定の発生条件のうち前記特定の発生条件のみが、特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかで満たされる場合と前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかで満たされる場合との両方を有しており、且つ前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかで前記特定の発生条件が満たされる場合であっても、前記特定種別の演出音は、前記維持操作非許容表示状態が終了するまでの間に非可聴の状態にされるようになっており、

さらに、

前記受付許容状態において前記摸画像表示の周期的变化が所定時間単位で現れるように表示されている場合、当該受付許容状態は、前記特定操作手段に対しての操作受付が複数回許容され且つ該特定操作手段を摸した摸画像表示が表示される前記複数回許容表示状態として発生している状況下にあるが、前記受付許容状態において前記摸画像表示の周期的

40

50

変化が所定時間よりも長い時間単位で現れるように表示されている場合、当該受付許容状態は、前記特定操作手段に対しての操作受付が複数回許容され且つ該特定操作手段を摸した摸画像表示が表示される前記複数回許容表示状態として発生している状況下にある場合と、該複数回許容表示状態として発生していない状況下にある場合との両方があるようになつてあり、

さらに、

前記摸画像表示として特別態様が表示可能とされるが、該特別態様が表示されているなかで該特別態様に対応する操作部に対して操作受付がなされると、該操作受付に応じた受付後変化の1つとして受付後出力音が可聴出力される場合と、該操作受付に応じた受付後変化の1つとして受付後出力音が可聴出力されない場合との両方があるようになつてあり

10

さらに、

前記特定の発生条件が満たされる時点で終了している前回の図柄変動が第1変動パターンで実行されていた場合、前記維持操作非許容表示状態は、該特定の発生条件が満たされたことに基づいて前記特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかで発生し、前記特定の発生条件が満たされる時点で終了している前回の図柄変動が第2変動パターンで実行されていた場合、前記維持操作非許容表示状態は、該特定の発生条件が満たされたことに基づいて前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかで発生することを特徴とする遊技機。

20

【請求項2】

遊技者による操作対象とされる操作手段と、

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定の結果に応じた変動パターンを実行可能な図柄変動実行手段と、前記操作手段に対しての操作受付が許容される受付許容状態において前記操作受付がなされると、該操作受付がなされたことに応じた受付後変化を実行可能な受付状態実行手段と

を備え、

前記受付許容状態として、前記操作手段に対しての操作受付が複数回許容され且つ該操作手段を摸した摸画像表示が表示される複数回許容表示状態が少なくとも用意されている遊技機であつて、

30

前記操作手段には、第1操作手段及び第2操作手段が含まれてあり、

前記複数回許容表示状態の種別として、前記第1操作手段を摸した摸画像表示が表示されて該第1操作手段を操作した状態に維持し続けるだけで該第1操作手段に対する操作受付が複数回なされる維持操作許容表示状態と、前記第2操作手段を摸した摸画像表示が表示されるが該第2操作手段を操作した状態に維持し続けても該第2操作手段に対する操作受付が複数回なされない維持操作非許容表示状態とが用意されており、

前記維持操作許容表示状態の発生条件として少なくとも所定の発生条件が用意されるとともに、前記維持操作非許容表示状態の発生条件として少なくとも特定の発生条件が用意されるが、前記所定の発生条件及び前記特定の発生条件のうち前記特定の発生条件のみが、特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかで満たされる場合と前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかで満たされる場合との両方を有しており、且つ前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかで前記特定の発生条件が満たされる場合であつても、前記特定種別の演出音は、前記維持操作非許容表示状態が終了するまでの間に非可聴の状態にされるようになつており、

40

さらに、

前記受付許容状態において前記摸画像表示の周期的变化が所定時間単位で現れるように表示されている場合、当該受付許容状態では、該摸画像表示に対応する前記操作手段に対しての操作受付を複数回許容するが、前記受付許容状態において前記摸画像表示の周期的变化が所定時間よりも長い時間単位で現れるように表示されている場合、当該受付許容状態では、該摸画像表示に対応する前記操作手段に対しての操作受付を複数回許容する場合

50

と、該操作手段に対しての操作受付を複数回許容しない場合との両方があるようになっており、

さらに、

前記摸画像表示として特別態様が表示可能とされるが、該特別態様が表示されているなかで該特別態様に対応する操作部に対して操作受付がなされると、該操作受付に応じた受付後変化の1つとして受付後出力音が可聴出力される場合と、該操作受付に応じた受付後変化の1つとして受付後出力音が可聴出力されない場合との両方があるようになっており

さらに、

前記特定の発生条件が満たされる時点で終了している前回の図柄変動が第1変動パターンで実行されていた場合、前記維持操作非許容表示状態は、該特定の発生条件が満たされたことに基づいて前記特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかで発生し、前記特定の発生条件が満たされる時点で終了している前回の図柄変動が第2変動パターンで実行されていた場合、前記維持操作非許容表示状態は、該特定の発生条件が満たされたことに基づいて前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかで発生する

ことを特徴とする遊技機。

10

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【0005】

このような従来の遊技機では、遊技興趣の低下が懸念される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

手段1：遊技者による操作対象とされる特定操作手段と、

30

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与する特典付与手段と、

前記特定操作手段に対しての操作受付が許容される受付許容状態において前記操作受付がなされると、該操作受付がなされたことに応じた受付後変化を実行可能な受付状態実行手段と

を備え、

前記受付許容状態として、前記特定操作手段に対しての操作受付が複数回許容され且つ該特定操作手段を摸した摸画像表示が表示される複数回許容表示状態が少なくとも用意されている遊技機であって、

40

前記複数回許容表示状態の種別として、前記特定操作手段を操作した状態に維持し続けるだけで前記操作受付が複数回なされる維持操作許容表示状態と、前記特定操作手段を操作した状態に維持し続けても前記操作受付が複数回なされない維持操作非許容表示状態とが用意されており、

前記維持操作許容表示状態の発生条件として少なくとも所定の発生条件が用意されるとともに、前記維持操作非許容表示状態の発生条件として少なくとも特定の発生条件が用意されるが、前記所定の発生条件及び前記特定の発生条件のうち前記特定の発生条件のみが、特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかで満たされる場合と前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかで満たされる場合との両方を有しており、且つ前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかで前記特定の発生条件が満たされる場合であって

50

も、前記特定種別の演出音は、前記維持操作非許容表示状態が終了するまでの間に非可聴の状態にされるようになっており、

さらに、

前記受付許容状態において前記摸画像表示の周期的变化が所定時間単位で現れるように表示されている場合、当該受付許容状態は、前記特定操作手段に対しての操作受付が複数回許容され且つ該特定操作手段を摸した摸画像表示が表示される前記複数回許容表示状態として発生している状況下にあるが、前記受付許容状態において前記摸画像表示の周期的变化が所定時間よりも長い時間単位で現れるように表示されている場合、当該受付許容状態は、前記特定操作手段に対しての操作受付が複数回許容され且つ該特定操作手段を摸した摸画像表示が表示される前記複数回許容表示状態として発生している状況下にある場合と、該複数回許容表示状態として発生していない状況下にある場合との両方があるようになっており、

10

さらに、

前記摸画像表示として特別態様が表示可能とされるが、該特別態様が表示されているなかで該特別態様に対応する操作部に対して操作受付がなされると、該操作受付に応じた受付後変化の1つとして受付後出力音が可聴出力される場合と、該操作受付に応じた受付後変化の1つとして受付後出力音が可聴出力されない場合との両方があるようになっており、

20

さらに、

前記特定の発生条件が満たされる時点で終了している前回の図柄変動が第1変動パターンで実行されていた場合、前記維持操作非許容表示状態は、該特定の発生条件が満たされたことに基づいて前記特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかで発生し、前記特定の発生条件が満たされる時点で終了している前回の図柄変動が第2変動パターンで実行されていた場合、前記維持操作非許容表示状態は、該特定の発生条件が満たされたことに基づいて前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかで発生することを特徴とする遊技機。

30

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】4530

【補正方法】変更

【補正の内容】

【4530】

また、上述した演出例では、全ての受付期間で同じ操作手段（例えば、操作ボタン410）に対して操作機会を付与することとしたが、受付期間の種別に応じて異なる操作手段に対して操作機会が付与されるようにしてもよい。例えば、第1E受付期間（図253など）では、操作ボタン410を摸した摸画像表示（ボタン摸画像B M G）が少なくとも表示されて該操作ボタン410に対する操作受付が複数回許容されるのに対し、第2E受付期間（図258など）では、刀装飾体5001を摸した摸画像表示（刀装飾画像S Y G）が少なくとも表示されて該刀装飾体5001に対する操作受付が複数回許容されるようにしてもよい。これと同様に、第3E受付期間～第6E受付期間についてもその種別に応じて操作機会が付与される対象がそれぞれ設定されるようにしてもよい。

40

50